



川 越

No. 856
平成7年2月10日

■阪神大震災への救援について	2
■広域を考える	6
■確定申告の受け付け	10
■新河岸駅周辺が自転車放置禁止区域に	11
■選挙管理委員会からのお知らせ	13

特別編・第2次川越市総合計画基本構想(案)

●同和問題講演会のチラシが折り込まれています。

川越景観百選⑪・メルト(川越西文化会館)



市長から市民の皆様へ

阪神大震災への 救援について



川越市長
舟橋功一

阪神大震災によって亡くなられた方々に対し、心からごめい福をお祈り申し上げます。また、甚大な被害を受けた被災者の皆様にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早く、元の生活に戻れますようご祈念いたします。

市民の皆様におかれましても、ご親族、ご友人などが被災され、心を痛めていらっしゃる方も多いことと思います。

川越市としましては、少しでも被災地および被災者のお役に立てていただきたいと考え、

- ① 地震直後に見舞い金三百万円を送らせていただきました。
- ② 乾パン二万食と毛布千枚を直接現地に送りました。輸送については、埼玉県トラック協会川越支部のご協力により、無償で届けていただきました。
- ③ 保健医療支援のため、保健婦と看護婦を合計十二人派遣しました。
- ④ 川越地区消防組合から救助隊員八人、救助工作車一台、調査車一台が応援出動しました。
- ⑤ 市役所の本庁舎および出張所（十か所）に義援金窓口を設置し、市民の皆様のご協力をお願いしています。
- ⑥ 被災者住宅として市営住宅（十戸）、母子寮（一戸）を提供しました。

また、今回の災害から防災対策を学び、災害に強い川越市のみちづくりに生かすため、被災地現状把握職員五人を派遣しました。

すでに多くの市民の皆様をはじめ、市内各種団体および企業などから温かいご支援をいただき、たいへんありがたく思っています。現地の状況から、被災者の避難生活は長期化する様相であり、今後も支援が必要です。引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この震災を契機として、川越市ではさらに総合的に充実した防災体制を確立していく考えです。

川越市の援助活動日誌

1月18日	見舞い金として三百万円を兵庫県に送る。
1月19日	福祉課と各出張所で募金活動を始める。
1月20日	市の備蓄庫から救援物資として乾パン二万食、毛布千枚を兵庫県災害対策本部に送る。
1月21日	市・広報車で市内を巡回、献血への協力を呼びかける。
1月22日	被災地の中学生一人を市内中学校に受け入れる。
1月23日	被災者用住宅として市営住宅（十戸）の提供を申し入れる。
1月24日	川越地区消防組合から救助隊員八人、救助工作車一台、調査車一台を派遣。
1月25日	「広報川越」で義援金と献血の協力を呼びかける。
1月26日	被災地現状把握のため市職員五人を派遣。
1月27日	被災地で看護活動にあたる専門職十二人（保健婦三人、看護婦一人の班編成で一週間ごとに交代）の職員を派遣。
1月28日	市に被災地救援のため寄贈されたゴミ袋二十万枚を送付。
1月29日	建築物の被災判定のため營繕課・建築指導課職員を二人派遣。
1月30日	水道施設の点検・補修のため水道部職員六人（二人組の三班編成）を派遣。

兵庫県南部地震 義援金受付窓口を開設しています。

川越市では、1月18日から4月17日まで、兵庫県南部地震の被災者に対する義援金の受け付けを行っています。寄せられた義援金は、日本赤十字社埼玉県支部川越市地区を通じて被災地に送られます。取り扱いは現金のみです。

受付場所＝市役所1階福祉課および各出張所
取扱時間＝月曜日～金曜日・午前8時30分～午後5時

これまでに寄せられた多くの皆さんからの善意(1月31日現在)

多くの皆さんのご協力により、今までに多額の義援金が集まりました。1月31日までに寄せられた義援金は下記のとおりです。市役所福祉課・各出張所に寄せられた義援金は、日本赤十字社埼玉県支部を通して被災地に送りました。また、川越市社会福祉協議会に寄せられた義援金は、埼玉県共同募金会を通して被災地に送りました。

引き続き義援金を受け付けていますので、ご協力をお願いします。

福祉課・各出張所受け付け	(609件)	21,235,189円
川越市社会福祉協議会受け付け	(25件)	1,580,638円
合 計	(634件)	22,815,827円

■兵庫県南部地震の被災者のため、多量の血液が必要です。献血にご協力をお願いします。

川越献血ルーム（サンロード・Kスクエア3階25-8760）午前10時～午後1時・午後2時～5時30分

広域を考える



まちづくりの事業には、市町村などが協力して行うほうが効率的なものがあります。そうした課題を自らの区域を越えて取り組むことを「広域行政」といいます。ここで紹介する「キュービックプラン21」もそのひとつ。協議会の自治体は、各市町の事業および周辺の市町村と連携してまちづくりを進めています。

キュービック協議会は、昭和六十三年に埼玉県南部地域の六市町（川越市・狭山市・坂戸市・鶴ヶ島町・日高町・川島町）が圏域の整備構想である「キュービックプラン21」を策定し、地域づくりの事業を行っているものです。平成四年に鶴ヶ島町と日高町が市制を施行。同六年には毛呂山町、越生町が加わり、八市町で構成する協議会になりました。

キュービック・シンポジウム

永井 シンポジウムを始めさせていただきます。キュービック協議会が六市町から八市町になり、各市が自立性の高い産業・文化都市として文字どおり、八面六臂の活躍が期待されます。それには、県の役割が大きいと思いますので、まず、埼玉県の考え方伺います。

鈴木 埼玉県の人口は、現在六百七十万人を超えています。しかし、東京に頼っているのが現実の姿です。これは、日常生活が県内で充足していないことを表わしています。したがって、県内九十二市町村を均衡のとれたものにしていくため、県内を東西南北と秩父の五つに分け、職・住・遊・学ができるものにしていこうとしています。

七十年代を中心とした工業がありましたが、自然文化に恵まれ、梅まつりなどの観光により年間百万人が訪れ、それに伴う施設整備がこれからも課題になっています。

「キュービック」は、バランスのとれた地域だと思います。中心となる川越市は歴史があり、狭山市は県下随一の工業都市、急成長地域である坂戸市と鶴ヶ島市、巾

着田などの自然を持つ日高市、百年を超える町の歴史を持つ越生町、医大のある毛呂山町、生涯教育に力を注ぐ川島町とそれぞれの地域が魅力的な要素を持っています。

永井 「地方」から「地域」と言いか方を変えて、いるところにも変化が見られますね。それでは、それがバネリストにキュービック

舟橋 ごみの問題、高齢化問題、福祉については、共同で検討していくなければならない課題です。それには、住民の理解と協力が必要です。発想の転換には、広い考え方を変えて、いるところにも変化が見られますね。それでは、それがバネリストにキュービック

本清 舟橋 生涯学習の時代なので要望が多いのですが、もう少し提携して、本を貸すだけではなく高齢化社会や生涯学習と合わせて考えて

います。

永井 広域的な協力というと、個人に持つものと共有するものがあると思います。

舟橋 それは、それぞれの独立性を認めながら、利用者の便宜を図っていくべきだと思います。川越市には、都市公園がないといわれますが、目の前ではなくても、そ

の役割を分担し、キュービック地

域内での相互利用などの方法で対応すればいいわけです。

今まで以上に、発想を変えていかなければいけないと思います。

永井 いやなものを持て押しつけられることになつて難しいことはありませんか。

宮崎 ごみ処理場をまちの中に造

るよう、地元の声を取り入れ、

プラン21への思いを語っていただきます。

舟橋 この地域は、東京に近いことがプラスでありマイナスであると思います。川越市は「いつか一度訪ねたいまち、住んでよかつたまち」としてまちづくりを進め、地域発展の中心的な役割を果たしてみたいと思います。そのためには、西部地域の核になる産業文化センターを造り、地元の活性、経済効果を考えています。

また、キュービック地域は「川」とのかかわりが深いため、川を軸として、交流を図ることや圏央道の鶴ヶ島市・日高市のインターチェンジ周辺を整備し「道」を生かして産業の高度化を進めるなども考えられます。

川越市は、パイロット自治体にもなっていますので、高齢化社会を支えるため、小学校の全裕教室の利用を考えていました。また、平成六年に開場した埼玉川越総合地方卸売市場もこの圏域をカバーするものです。

永井 訪ねてみたいまちが、住んでみたいまちになるかが課題になります。宮崎市長いかがですか。

宮崎 埼玉県の中央部の「YOU And I」に対し、西部に川越市を中心として、いい地域を造るために鶴ヶ島町（当時）、川島町、狭山市、日高町（当時）も加わり都市連合として、いろいろなこと

ができ、感謝しています。キュービック地域は歴史、文化などの特

性を生かした活動によって魅力ある地域をつくるものです。越生に

は梅、ゆずなどの栽培と加工を中

心とした農業、再興を図る商業、

本清 キュービックに加わること

ができ、感謝しています。キュ

ービック地域は歴史、文化などの特

性を生かした活動によって魅力あ

る地域をつくるものです。越生に

は梅、ゆずなどの栽培と加工を中

心とした農業、再興を図る商業、

本清 キュービックに加わること

ができ、感謝しています。キュ

ービック地域は歴史、文化などの特

魅力いっぱいのキュービック

川越市

面積 109.18km²
人口 316,694人
世帯数 108,141世帯

長い歴史と伝統を持ち、「小江戸」とも呼ばれる川越は、市内に江戸の面影を残す城下町です。また、江戸に物資を供給する商人のまちとして繁栄し、時の鐘や蔵造りの商家に往時をうかがうことができます。よりいつそう充実した商業都市、観光都市として発展する現在、「いつか一度訪ねたいまち・川越」をテーマに新旧の調和したまちづくりを進めています。

狭山市

面積 49.02km²
人口 163,317人
世帯数 56,953世帯

狭山市は、首都圏の住宅・工業都市として目覚ましい発展を遂げ、県下第1位の製造品出荷額等を誇る一方、「お茶香るまち」の愛称であり狭山茶の産地でもあり、智光山公園を持つ、緑豊かなまちです。市民の自主的な活動も盛んで、アメニティあふれるまちづくりの環境庁官賞、積極的な健康・保健事業への厚生大臣賞も受賞した住みよいまちです。

坂戸市

面積 40.97km²
人口 97,462人
世帯数 33,135世帯

坂戸市は、中央部に位置する市街地を田園地帯が取り囲み、都市化の進む近代的な生活と豊かな自然が調和を見せていくまちです。また、市内中央には、清流高麗川、北部には、越辺川が流れ、豊かな親水空間を実現しています。さらに、その高麗川北岸に広がる入西地区に複合多機能型のニュータウン建設が進められ、今後も自然と近代居住空間が融合したまちづくりを目指しています。

鶴ヶ島市

面積 17.73km²
人口 65,269人
世帯数 21,826世帯

国道407号線沿いにある日光街道杉並木は、江戸時代初期の寛永年間の植え付けといわれ、八王子千人同心の往来に利用されました。現在は、桜も植えられ、花見の名所となっています。また、脚折地区の電池で4年に1度、行われる雨乞い行事は、竹とわらで作られた長さ36メートル、重さ2トンの竜蛇を池に運び入れ、池中を担いで回ります。規模では、全国でも類を見ないものです。

日高市

面積 47.48km²
人口 55,487人
世帯数 16,797世帯

日高市は、県内42番目の最も新しい市です。東部は、武蔵野の面影が残るなだらかな台地が広がり、西部は、清流高麗川が流れる緑豊かな丘陵地からなり、憩いの場になっています。特に巾着田は曼珠沙華の群生地として広く知られ、開花期は、たいへんにぎわいます。市の特産は、茶、高麗川マロンなど。「豊かな住環境と活力に満ちた ふれあい清流文化都市 日高」を目指しています。

毛呂山町

面積 34.03km²
人口 38,081人
世帯数 13,396世帯

毛呂山町は、昭和30年代を境に首都圏のベッドタウンとして急速な発展を遂げてきました。町のおおむね50%が山間地であるとともに、3つのゴルフ場があり、町外の人々にも、広くレクリエーションの場として親しまれています。近年、関越自動車道や首都圏中央連絡自動車道などの広域交通により、さらに新たな発展を見込まれています。

越生町

面積 40.44km²
人口 13,518人
世帯数 4,011世帯

「梅の里あごせ」は、歴史的遺産と緑豊かな自然文化に恵まれた町です。梅まつり、早春の七福神めぐりをはじめ、四季を通じて年々訪れる観光客が増しています。また、平成7年4月には、子どもからお年寄りまで、あらゆる人々が生涯学習、交流の場として、自然を生かした心身豊かなまちづくりを進めるメンバーシップのひとつ、ふれあい健康センター「ゆうパークあごせ」がオープンします。

川島町

面積 41.72km²
人口 23,568人
世帯数 6,269世帯

四方が川の川島町は、町の60%が田園地帯という、緑に恵まれた町です。川は、河川改修や堤防を築くことにより、安全性を向上させ、同時に水遊びや堤防を利用したサイクリングなど、親しまれるものになっています。この豊かな自然を基本に、農業をはじめ、商工業においてもいつそうの活性化を図り、公園施設や園道などの道路交通網の整備に努めています。

シンドウムに統一して行われた特別講演は、「約七十パーセントの人が、住みたい場所として現住所をあげ、自然環境・気候がよいなどの住環境とあわせ、文化の有無を理由としています。それでは、文化って何でしょうか?」という問いかけから始まりました。

自転車、駐車場などの問題があり、市内循環バスを通す方法などを考えていました。皆で車に乗つたら、いつまでたつても問題は解決しません。高齢化社会を含めて研究していくべきだと思います。

特別講演「地域文化の創造」レポート



木元教子さん

は、約七十パーセント。愛着、生活・自然の環境がその理由になりますが、回答には「文化」があげられていました。

特別講演のテーマになつていて木元さんは「文化」について木元さんは「人間として心がわくわくする、樂しくなる、やすらぎがあるという精神的なもの」と定義します。さら

は、柔軟性が大切。それについて木元さんは「beよりもdo」と言う木元さんは、動かないでいるより参加して盛り上げる積極性を表すということです。

木元さんは、大切なことは「まねまちづくりには、まちをつくる人も課題。未来を考える人がいるかどうか、そういう人をつくつていくことになります。講演では、ごみ焼却によって作られた蒸気の暖房、ごみ焼却の熱エネルギー

ギーを用いた発電などの例を紹介。ごみ処理場が、迷惑施設という発想がある限り出てこない考え方であることを強調していました。

木元さんは、まちづくりについて「資源、エネルギー、食料、環境、経済、消費などについて持続可能な発展が課題である」と言います。世界一の高齢社会、低出生率の中で自立した生活を営み、地域に貢献することが、今の私たち

文責・川越市広報課

各市町の面積・人口・世帯数は、平成6年10月1日現在の数値です。



キュービックシンポジウム'94
「キュービック地域の創世紀を語る」 不元 教子(講演) 地域文化の創造

嫌がるような施設でも納得してもらうことが必要かと思います。永井ごみの処理場もくふうじだることがありますね。本清「迷惑施設」といわれるものを持ちつ持たれつ造ることが大事だと思います。

永井 交通の問題は、県内でも不便なものがあると思います。舟橋 川越市でも交通渋滞、放置自転車、駐車場などの問題があり、市内循環バスを通す方法などを考えています。皆で車に乗つたら、いつまでたつても問題は解決しません。高齢化社会を含めて研究していくべきだと思います。

宮崎 実際の使用を考えると、県で造つてもらい、市町村では、身

本清 道路網の問題です。南北に比べ東西が遅れていると思います。先日、交通渋滞に巻き込まれたこともあります。越生町から浦和市まで行くのに二時間二十分かかる近なものを考えるべきだと思います。本清 道路網の問題です。南北に比べ東西が遅れていると思います。

近なものを考えるべきだと思います。管理する経済性も考えなければならぬ問題です。

永井 最後に一言ずつ、これから何に期待するか、お願いします。

舟橋 福祉は与えられるものだけではなく、自分でも努力して得るものという意識が望れます。

永井 最後に鈴木さんお願ひします。施設については、必要なものを、しませんので、隣り合う市町村のユーピックに限らず、地域でいろいろな対処をすることが大切です。

鈴木 道路や福祉は、広域的な取り組みが必要です。市町村が、ばかりでは、政策として意味をなす。

永井 北欧型の福祉政策が認めら

れるようになり、家族同居の高齢者福祉が大きなポイントになるかと思います。

それに、ノーマライゼーションに基づいた、だれもが住みやすい地域を作ること、二十四時間の協力も得ながら地域文化を考え、広域行政を進めてもらいたいと思

ることから特性を生かして独自のものに変える独創性。それを実行する積極性。どこの国はどうでも受け入れられる国際性」と言います。差別をなくし、利己的に考えない発想、広い視野で考えることは、共同で何かを行うときに最も大切なものであるように感じられました。

まちをよく思われたいと考える

永井 ありがとうございます。キュービックプラン21のご発展をお祈りして、シンボリックを終わらなければならぬと思います。そのためには、それぞれがリーダー

鈴木 あります。そこで、フルセット主義の住民に対し、行政の企画サイドは、重点主義が大勢を占め、意識の差を感じます。市町村は、埼玉県全域を視野にして考

えなければならないと思います。そのためには、それぞれがリーダー

あると教えてください。

永井 ありがとうございます。キービックプラン21のご発展をお祈りして、シンボリックを終わらなければならぬと思います。

魅力ある地域だと思うようにする通や情報のネットワークを作つてもらなければならぬと思います。それが市町村のまとまりが県であります。そうした市町村のまとまりが県であります。それによれば、なぜならでは、政策として意味をなす。施設については、必要なものを、しませんので、隣り合う市町村のユーピックに限らず、地域でいろいろな対処をすることが大切です。

鈴木 道路や福祉は、広域的な取り組みが必要です。市町村が、ばかりでは、政策として意味をなす。

永井 最後に鈴木さんお願ひします。

施設については、必要なものを、

しませんので、隣り合う市町村の

ユーピックに限らず、地域でいろいろな対処をすることが大切です。

鈴木 道路や福祉は、広域的な取り組みが必要です。市町村が、

みんなのコラム

楽しかった小学校生活

今成小学校六年
長井千鶴



おしゃべり俱楽部 71 気になら木

シユロ

もちつき彌りで
知られる南大塚・
西福寺。その本堂
正面両脇に、高さ
6メートルほどの
シユロの木があり
ます。一見、南国
風のこの樹木、意
外なことに原産地
は日本だそうです。

ヤシ科シユロ属の常緑高木。暑さにはもちろん、寒さ、乾燥、潮風にも強い、とても丈夫な樹木です。また、幹に生えている「シユロ毛」は耐水性にすぐれていて、かつては船のとも綱や造園用の縄などに使われましたが、今は合成繊維に代わられつつあります。いちばんのおなじみは「亀の子たわし」。一方、長い柄のついた硬い葉も、繊維質に富んでいて、民芸品に用いられるなど、なかなか“使える”木のようです。

私は、小学校生活の六年間を、とても楽しく過ごせました。一年生から六年生までの縦割りグループで仲よく行った全校遠足、夏の始まりに、全校みんなで水かけ合戦の水かけ祭り、冬には、苦しかった持久走大会もありました。いろいろな経験をするなかで、私はたくさん友達ができました。学校に行くと、みんなが声をかけてくれたり、一緒に遊んでくれたりしました。そんなとき、私はいつも友達といいな、と思います。私にとって、小学校生活が楽しめたのは、友達がいたからです。

私のクラスは、男女仲がよく、困った時は、おたがいに助け合い、協力し合えるクラスです。たまに、けんかをすることもありますが、そんなときは、みんなで思い切り話し合います。話し合いの後は、みんない顔をして、楽しい中学校生活を送っています。運動会の学級対抗リレーでは、良い成績をとるためにはどうしたらいいか、クラスで、良い案を出し合いました。

授業中も、体育の苦手な種目ができるようになつたときなど、自然に大きな拍手が起ります。自然とさみしそうにしている人がいると、言葉をかけてあげる人もいます。優しい人ばかりで、私はこのクラスが大好きです。友達というのは、かけがえのない宝物だと思います。

私たち六年生は、もうすぐ卒業です。楽しかった小学校生活ともお別れです。それは、とても悲しいけれど、今成小学校で過ごした思い出は、たくさんでました。どの思い出も、友達と作つた思い出です。いつまで大切に、忘れないでいたいと

思います。卒業までの少しの間も、みんなと仲よく、いい思い出を作つて卒業したいと思います。中学校行つても、友達たちはみんな作りたいと思います。そして、楽しい中学校生活を送りたいと思います。

市民文化祭

川	柳
宮下町一 新井つる吉 鈴木柳芳	丸山しげる 小川正夫
神明町 中原町二 山岡涼山	山岡涼山 平野正史
豊田町 広栄町 仙波町三	横山ふみ乃 坂上万須子
宮元町 中老袋 上寺山	平野桂馬 小野桂馬
宮元町 六軒町一 笠幡	豊田新田 宮元町 藤間
豊田新田 新井健一 新井初江	仙波町三 坂上万須子 平野正史
大沢莉太郎 平柳高麗路 塩野あいり	宮元町 平野桂馬 小野東風 塩尻梅生 福田鳴子 小野桂馬 坂上万須子 平野正史
山崎涼史 蒂津素山	宮元町 塩尻梅生 小野東風 塩野あいり 福田鳴子 小野桂馬 坂上万須子 平野正史

A 紙ごみ（以下、資源ごみ）をパッカーチで収集する場合、収納する部分をよく洗つてから使います。また、A車は新聞だけ、B車は雑誌だけというように、資源ごみの品目にごとに車両を分けて収集しているので、分別していただいたものが混ざってしまうことはありません。収集された資源ごみは、市内の紙問屋に搬入されていますが、そこでうかがつたところ、パッカーチでも、このような方法で収集していれば、問題なく再利用できるということです。これからも資源ごみモニターリング地区収集にご協力をお願ひします。

問い合わせ：資源対策課内
線2623

もしもしコーナー 71
あとでむ



表通り裏通り



ベトナム一人旅

大野治郎（68歳・勝田町）

一人旅に出かけたのは、長いベトナム戦争をへて南北統一を果たし、経済復興の目覚ましいホーチミン市（旧サイゴン）。太平洋戦争のときに3年間勤務し、戦局が悪化した昭和19年12月に転勤で帰国してちょうど50年、治安も安定しているとわかったからである。

成田をたって4時間半、香港で乗り継いだベトナム航空の機内に入るとスチュワーデス全員がピンク色のアオザイ（ベトナム女性の民族衣装）姿で出迎え、懐かしさでカメラを向けた。

タンソンニュット空港から車で市街地に入る。新築中の建物が多く、また、庶民の足であるバイク、自転車の洪水にびっくり。ガイドのファン君と市内を回り、昔と変わらぬ国会議事堂、市役所、大教会、郵便局等の建物、碁盤目の道路、街路樹には、タイムスリップした感になった。

街には物資が豊富に出回り人々の活気ある行動には、政府の刷新政策がうまくいっているなと思った。サイゴン河の観光船では、50年ぶりのベトナム料理を賞味。満足し5泊6日の旅を終えた。

イラストコーナー



田島優子（14歳・寺井）



霞ヶ関南分室の様子

あいさつする舟橋市長

はーとふる

霞ヶ関南分室
市立図書館
オープン

霞ヶ関南分室

まちのできごと 109パレット

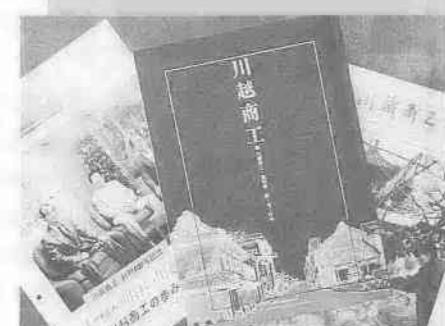
文化財も家庭も心構え

昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損したことから定められた「文化財防火デー（1月26日）」に先駆けて1月23日に喜多院・東照宮・日枝神社で消防訓練が行われました。文化財の宝庫であり、多くの方が訪れる訓練会場一帯。「天災、人災を問わず火災はないにこしたことはありません」と日ごろの心構えが再確認されました。



商都川越の歴史を復刻

川越商工会議所の機関紙「川越商工」（月刊）の復刻版が発行されました。同復刻版には縦書きの形式で発行されていた昭和22年発行の第1号から同41年発行の第57号までが収録され、商都川越の歴史をうかがうことができます。川越商工は、平成7年2月現在第406号。また、川越商工・復刻版は市立図書館でご覧いただけます。



やまぶきでナイスショット

1月28日、やまぶき会館でスポーツ講演会が開かれました。川越市出身のプロゴルファー樋口久子さんの講演ということもあって会場は、満員。ゴルフのワンポイントレッスンもあり、「ゴルフは、自然・コース・自分との戦い。魅力があります」という樋口さんは、たくさんの質問にていねいに答えていました。



和紙にたくして

寒椿

文 はの絵
新井紀子さん
新井時子さん

11



深い眠りについた自然は
かたくなに沈黙を守っている。
命の鼓動すら忘れてしまいそうな
冬の空の下。
確かな存在を投げかけるように
鮮やかに咲く寒椿。
寂しいときに懐かしい人と
出会ったような喜びを感じる。
さびしい寒さのなかで生きる宿命の花。
春が芽吹くまで
どれだけの心を
慰めてくれるのだろう。
「任せください」と
赤い花が告げているかのように見えた。

どぶろく

編集日記

阪神大震災は、当初の予想をはるかに上回る惨状になり、被災地は激甚地域に指定されました。家が倒壊し、共同生活をしている方々は今、生きることに一生懸命です。ようやくまちから子どもたちの歌声が聞こえてくるようになりほっとしたと、若いアナウンサーが語っていました。棒を振り回して無邪気に遊ぶ子どもたちの姿が放映されるなど、まちは明るさを取り戻しつつあるようですが、コップ1杯の水で洗髪をしてもらったお年寄りが、涙を流して喜んでいる様子を見て、厳しい状況を思い知られました。私たちにできることを考え、少しでも援助の手を差し伸べたいものです。

表紙の写真(メルト・鯨井)



TV わが街川越 番組ガイド

38ch テレビ埼玉 毎週火曜日

午後5時30分～5時40分

■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

午後10時15分～10時25分

2.14 TUESDAY 川越の景観100 シリーズ⑤(再)

すぐれた景観を守り、育て、まちづくりに役立てようと、平成5年3月に決定した「川越景観百選」。番組では、歴史を感じさせる建築物や造形、自然の風景など、市内全域の100の景観を、シリーズで紹介しています。



蔵造り資料館

2.21 TUESDAY 2.28 TUESDAY 蔵造りの魅力

明治26年の川越大火を教訓に、川越商人たちが店舗に採用した蔵造り。黒漆喰の壁、観音扉のついた窓、棟瓦葺きの屋根などの特徴は、火に強いだけでなく、しっとりと落ち着いた、独特の雰囲気を醸しています。

2.12(日)

38ch テレビ埼玉

午前9時30分～9時50分

川越市特別番組
「時を超えて」が放映
されます。

★平成5年度までに放送された「わが街川越」は
市立図書館AVコーナーでご覧になります。

※貸し出しカウンターでお尋ねください。

★平成5年度までに放送された「わが街川越」の
うち、文化財・伝説を扱ったものは市立博物館
のビデオルームでご覧になります。

■発行／平成7年2月10日（毎月10日・25日発行）

■編集／川越市広報課 〒350 埼玉県川越市元町1-3-1 ☎0492-24-8811内線2132

■発行人／川越市長 舟橋功一

■印刷／有青山印刷

広報川越 856